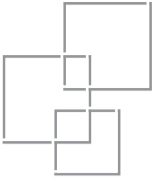


3月定例会では、2月26日に6人の議員が代表総括質疑を、27日に4人の議員が総括質疑を行い、令和2年度の施政や財政方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認の上、1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、総括質疑の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや各市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで6月下旬からご覧いただくことができます。



代表総括質疑



令和2年度施政並びに財政方針及び予算について —ひきこもりについて—

公明クラブ 星野 一広

議員 8050問題や、昨年に相次いだひきこもりに関連する事件から、相談窓口の設置や支援体制の整備が全国レベルでの急務となっています。ひきこもり問題に対する本市の対応の進捗状況と、今後について伺います。

福祉子ども部長 今年の1月から2月にかけて、家族会と関係各課による意見交換会を実施しました。ひきこもりの現状と、それを解決したいと願う家族の心労や要望等を直接お聞きし、支援の一環として、家族や当事者の居場所づくりから始めることになりました。また、相談窓口や支援体制については、厚生労働省が昨年12

月、ひきこもりを中心に、介護や困窮といった複合的な問題を抱える家庭に対応するために、市町村の体制整備を促す方針を決定し、本年の通常国会に、財政面での支援も含めて法案が提出されているようですので、併せて家族会の意見を聞き、体制整備を検討したいと考えています。

議員 ひきこもりに対する市長の所見を伺います。

市長 私も、ひきこもりの方のご家族や関係者とお話をして、相談の場や居場所の確保から始めるということでご意見が一致し、早速、担当が動いてくれているところです。いずれは、いろいろな分野の困りごとがある人たちが、総合的に相談できるような環境をつくっていきたくと考えています。

■その他の質問

- ・財政方針・予算編成について
- ・減災・防災対策について
- ・子育て支援について
- ・SDGsの推進について



代表総括質疑



交流物産館の建設について

日本共産党 水野 正己

議員 大雄建設が事業主体である、北茨城市の特産品を中心とする交流物産館について、総事業費、補助金2,500万円の使途、赤字等により大雄建設が撤退した場合の原状回復費用の見積もりと、その担保としての保証金の額を伺います。

企画部長 総事業費は今後、変更となる可能性もあり、まだ発表できる段階にありません。補助金については、交流都市の物産を扱うための必要備品に対して交付する予定です。事業主体の撤退時には、原状に復す内容の契約を締結する予定であり、保証金は賃料の1年分、173万7,600円を予定しています。原状回復費用の見積もりは現状行っていないが、原状回復の必要が生じた際には、保証金をその費用に充てる場合もあると思います。

議員 約170万円の保証金では、原状回復費用としては不足だと思います。撤退した場合には、その費用が市の負担となるリスクがあります。また、補助金と保証金をみると、約14年分の借地料を無料にする

のと同様であり、公益性に疑問が残りますが、市長の所見を伺います。



市長 北関東自動車道の開通により、海からのアクセスが大幅に向上したことから、群馬に海を持ってくるという視点の政策として行うものです。この計画について、いろいろな場で話をしましたが、反論はほとんどありませんでした。北茨城市との都市交流の場としても有益と考えていますので、建設を進めていきたいと考えています。

■その他の質問

- ・都市計画の変更について

総括質疑



令和2年度施政並びに財政方針及び予算について —文化財の保護活用と観光振興について—

創政クラブ 今井 俊哉

議員 本市には数多くの古墳が存在し、特に天神山古墳は、その規模の大きさはもとより、太田駅から徒歩圏内という好立地にある希少な文化財です。このように、地元住民にとってはありふれていても、外から見ると大変魅力的な本市の文化財を活用した観光振興の課題と可能性について伺います。

産業環境部長 歴史的な文化財については、新しい観光資源である太田市美術館・図書館等と結び付けてPRを行っています。観光資源としての文化財を生かし切れていない部分については、関係課と連携し、さらなるPRの充実に努めていきたいと考えています。

議員 近年では古墳女子という言葉も誕生しており、天神山古墳をはじめとした幅広い時代の文化財は、発信次第で強力な観光資源となり得ます。また、製造だけでなく、見せる体制が整った工場も多々あります。本市独自の文化財と観光資源の再評価が必要と考えますが、市長の所



見を伺います。

市長 SUBARUやAGFによる工場見学の受け入れは、本市にとって非常に強みであると考えます。一方、天神山古墳は用地買収が完了せず、整備ができない状況ですが、古い歴史を生かしてできることを考えていきます。他の観光資源についても、発掘して紹介していくことが大切と考えています。

■その他の質問

- ・市民満足度アンケート調査結果の予算への反映について
- ・災害対策について
- ・子育て支援策について
- ・農業振興について

総括質疑



令和2年度施政並びに財政方針及び予算について —(仮称)太田西複合拠点公共施設の整備計画について—

太田クラブ 大川 敬道

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設の整備計画について、その内容と完成の目途を伺います。

企画部長 この事業はいまだに構想段階にあり、老朽化した公共施設の再編のほか、市民アンケートやワークショップ等の意見を参考にして、民間商業施設等の導入も視野に入れながら計画づくりを進めています。公共施設の導入候補としては、屋内プールや図書館のほか、行政センター等の窓口機能も検討しています。施設の完成時期については未定ですが、来年度から設計業務が開始できるように準備を進めているところです。



議員 単に各行政センターの機能を集約させるのではなく、後期高齢者医療保険受給者証の再発行の手続き等、各種行政サービスのワンストップ化機能を持たせるべきと考えます。また、県と協議し、県の出先機関である保健福祉事務所を含めた施設とすることについて、市長の所見を伺います。

市長 第2の市役所のような施設ではなく、補完的な施設として整備を計画しています。効率的な行政運営を行うためには機能の集約化が必要ですが、その中で市民サービスが低下することのないようにしたいと考えています。県の出先機関を含めることについては、人件費等、財政的な負担の増加につながりますので、県にはそのような意向はないのではないかと考えます。

■その他の質問

- ・持続可能な財政運営について
- ・(仮称)市民体育館建設事業について
- ・おた渡良瀬産業団地について